

# ふじまつ

29年度重点目標 “パワーアップ藤松”【今こそ！つけよう未来への力！】

## 暑い夏の中1学期のまともに頑張っています！

大変暑い日々が続いています。学校はプール清掃を6年生が6月13日に行い、20日からプール開きを行いました。たくさんの保護者の方にプールボランティアに参加していただき、安全管理を行っています。また毎日、検温やプールカードの記入、水泳道具の準備、健康管理等ご迷惑おかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。教室にはすでにエアコンの機械が設置されていますが、稼動は秋からになりそうです。

また、現在1学期のまともに取り組んでいます。7月4日には台風の影響で臨時休校となりました。幸い大きな災害情報は入っておりませんが、今後も大雨に伴う風水害が心配です。各ご家族で風水害対策をお願いいたします。



6年生のおかげでプールができるんだよ

### ◎ 社会科見学4・5年生

4年生は、6月9日門司の清掃工場、井出浦浄水場へ見学に行きました。お弁当を井出浦のピオトープで食べましたが、カエルをとって大喜びでした。6月13日児童文化科学館のプラネタリウム見学にも行きました。



カエル  
とったぞー

5年生は、6月22日エコタウンや風力発電の見学、自動車の解体工場、日産自動車の組立工場の見学に行きました。藤松の子どもたちは、挨拶や話を聞く態度が素晴らしいです。説明する方もとても喜んでいました。

社会科見学は、学校を離れ、直接自分の目で見て考える貴重な体験学習です。

岩谷先生

### ◎ サイエンス教室

今年も学校外から講師の先生を招いて、サイエンス教室を開いています。低学年は、起き上がりこぼしのおもちゃ作り、中学年は空き缶の水のマジックでした。高学年は2学期にあります。



### ◎ 藤松水田はじまりました

毎年5年生が取り組んでいる、稲作体験学習。足や手を泥の中に入れての田植えは子どもにとって貴重な体験です。全くの無農薬なので、水田にはカブトエビやホウネンエビが現れる年もあります。子どもたちの願いをかなえて大きく育てほしいです。



### ◎ 保育園児こんにちは

藤松保育園のかわいい園児が藤松小学校に来てくれました。1年生の子どもたちが、お兄さんお姉さんとして、学校の紹介をしてくれました。今年も交流を増やし、1学期に1度くらいの交流をする予定です。



## 子育て応援 シリーズ 校長の独り言

### ◎ 感情を許し、行動を制限する ⇒しつけの基本

しつけの基本は、子どもの「怒り」に対して「感情」を理解し、「行動」を制限することです。この2つは区別しなければなりません。感情は認めてやり処理しなければなりません。行動は制限し向きを変えてやる必要があります。ときには、感情を認めるだけで緊張がほぐれるときもあります。

母：今日は怒っているよね。 子：そうだよ。  
母：誰かを怒っているのね。 子：そう母さんだよ。  
母：理由を話してくれない？  
子：僕のことソフトバンクホークスの試合に連れて行って欲しかったのに、一郎は連れて行っただろう。  
母：それで怒っているのね。「母さんは僕より一郎のほうが好きなんだ」って思ったんでしょ？ 子：うん。

制限を課さないといけない場合もあります。

5歳の次郎が居間の壁に落書きしているのを母は見つけました。母はかっとなりましたが、気持ちを抑えこう言いました。「だめよ、次郎、壁は絵を描くところじゃないの。絵は紙に描くのよ。ほら紙を3枚あげるわ」それから母親は壁を拭き始めました。次郎はとても喜んで「ママのこと大好きだよ」と言いました。

これを次の言葉と比べてみましょう。「あなた、何しているの？いっさい、どうしたっていうの？壁を汚しちゃいけないことくらい分かっているでしょ？本当にどうしようもない子ね」これでは、人間としてダメと宣告されたような印象を抱くだけで、自分から行動を正そうという大人には育ちません。

親が子どもに制限を課すときには、限界を定めることが必要です。

- 1 受け入れられない行為は何か、
  - 2 それに代わる受け入れられる行為は何か、
- をはっきりと伝えます。たとえば、「お皿は投げてはいけないが、枕なら投げても良い」という具合です。しかし、「少しだけなら水をかけても良いけど、ずぶぬれにさせたらダメよ」というようなあいまいな言い方は、子どもが判断するよりどころになりません。

### ◎限界を定めるときの言い直し

- 1 子どもの願望を認め、それをシンプルな言葉に言い換える。  
「今夜映画に行ければいいのと思ったのね」
  - 2 具体的な行動についてその限界をはっきりと述べる。  
「でも学校がある前の晩は、映画に行けないというのが我が家のルールよ」
  - 3 子どもの願望を少なくとも部分的に実現できる方法を指摘する。  
「金曜日が土曜日の晩なら行ってもいいわよ」
  - 4 子どもが制限を課されたときに抱きやすい怒りを表現するのを助け、同情を示す。  
「あなたがルールを気に入らないのは明らかね」  
「映画は毎晩OKというルールなら良かったと思っているんでしょう？」
- 練習問題（あなたならどう言いますか）  
子：「私ここが好き。帰りたくない。あと1時間ここにいる」  
父：「お前がそう言っても、父さんはそうさせられないよ」⇒×  
父：「お前がここが好きだということはわかった。もっと長くいたいと思っているのだから。たとえ10時間でもな。だけど家に帰る時間だ」⇒◎  
「子どもの話にどんなへんじをしていますか？」ハイム・G・ギノット著より

土曜日・日曜日・夏休み、工事しています。  
体育館、渡廊下大規模改修、教室エアコン設置、学童工事  
学校に近づかないでください!!

**注意!**